

# リスク管理

GRI 2-16, 3-3

柔軟で強靱なESGガバナンスのもと、リスク低減と機会創出を確実にするため、リスク管理及び機会管理を強化しています。

## 花王のリスク管理と機会管理

リスク管理においては、リスクの重要性をリスク・危機管理委員会で定期的にモニタリングしています。中でも、経営への影響が特に大きく、対応の強化が必要なリスクは「コーポレートリスク」として、経営会議でリスクテーマとリスクオーナーを選定し、リスク・危機管理委員会で進捗管理をしています。各部門やグループ会社で管理可能なリスクは、各組織が中心となって対応しています。機会管理においては、会社全体でテーマを統合管理し、優先順位の設定とESG投資を促進するしくみを構築し、戦略的な事業展開につなげています。

## リスク管理

リスク・危機管理委員会が、「リスク及び危機管理に関する基本方針」に基づいて、リスクと危機の管理体制と活動方針を定めています。そして、部門、グループ会社は、この活動方針に基づいて、リスクを把握、評価し、対応策を策定、実行することでリスクを管理しています。

持続的な利益ある発展と社会のサステナビリティへの貢献に悪影響を与える、特に重要な15の主要リスクを、リスク・危機管理委員会、経営会議の審議のもとで選定しています。これら主要リスクの中で、経営への影響が特に大きく、対応の強化が必要なリスクを「コーポレートリスク」として定めています。「コーポレートリスク」は、年1回、社内リスク調査の結果分析、外部環境

の分析と経営陣へのヒアリングをもとに、経営会議でリスクテーマとリスクオーナー(各リスクテーマの責任者:執行役員)の見直しを行い、リスク・危機管理委員会で進捗管理をしています。

**P293** リスクと危機の管理

## 機会管理

2019年、各部門が機会となるテーマを提案し、その中から20の重要なテーマを特定し、ESG委員会(当時)で審議の上で設定しました。それらのテーマに基づき、主管する部門が活動に落とし込み、取り組んでいます。ESG推進会議やESGコミッティが、それらの重要テーマを全社で統合管理し、活動の進捗状況を確認しています。

ESGステアリングコミッティが担当するテーマについては、各テーマを所轄するESGステアリングコミッティが中心となり、事業における迅速な機会創出と具現化を進めています。

特に事業活動へのESGの組み込みには投資・コストに関する迅速かつ的確な判断がポイントになります。そこで花王は、ESG投資に関する基準及びESGコミッティでの審議・承認プロセスを明確化することで、各部門からの提案の活性化と、的確な投資判断を実現しています。これらにより、ESG活動による確実な機会創出及び事業への貢献の実現を進めています。